

2 - 2 - 4

岐阜県指定史跡

土岐成頼 斎藤妙椿 墓

昭和 47 年 3 月 17 日指定

土岐成頼は康正 2 年（1456）15 歳で、美濃国守護土岐持益の養子となり、左京大夫美濃守となった。応仁の乱では山名氏に従い、始終京都にあって西軍の有力武将として 11 年間転戦した。文明 9 年（1477）和平成立後、足利義視、義植父子をともなって帰国した。明応 6 年（1497）56 歳で病没し、ここに葬られた。

斎藤妙椿は土岐家の守護代で、主君成頼が京都で転戦している間在国し支配権を確立し、さらに近江、越前など近国にも勢力を拡大していった。他方、歌人でもあった妙椿は文化人の保護者でもあり、美濃で連歌が華やかに行われた時代を築いた。応仁元年（1467）頃、主君成頼のために瑞龍寺を建立した。妙椿は、文明 12 年（1480）70 歳にて没しここに葬られた。

平成 10 年 7 月

岐阜市教育委員会

説明板より